



法律の知識を活かして、ビジネスの円滑な進行をサポートする仕事です。法律だけでなく、ビジネスに対する理解が欠かせません。

原川 樹里

2007年3月	横浜国立大学経済学部卒業
2010年3月	静岡大学法科大学院修了
2011年9月	司法試験合格
2012年12月	司法修習終了 弁護士登録
2013年6月	カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社（法務部）入社

【現在の仕事の内容】

・契約書の作成・審査 ・契約交渉、官庁交渉 ・法律相談 ・社内向け研修 ・その他法務事務

■法科大学院で学ぶということ

大学生の頃に法学の入門を学び、法学自体に魅力を感じたので、どうせなら興味があることを仕事にしたいと思い、法曹を目指すことにしました。学部生時代にも予備校を利用する等して多少は法学を勉強していたものの、他学部だったこともあり、一から法学を学ぶ必要があると考え、法科大学院を目指すことにしました。実家が静岡なので、実家から通学可能であることも考慮して静岡大学を選びました。

■今の仕事を選んだきっかけ

司法修習中、裁判所等で様々な事件に触れる中で、起きてしまった紛争を解決することの大変さを知り、紛争が起こらないようにすることの重要性を感じました。そこで、企業の中で働くことで、紛争を予防する視点を重視した仕事に携わりたいと考え、企業内弁護士として働くことを選びました。また、結婚を予定していたため、家庭との両立の観点からの働き易さも考慮しました。

■仕事の魅力

法的な視点だけでなく、ビジネス的な視点にも大きく左右されるところが面白いです。相手との関係や営業的な事情その他様々な条件を考慮すると、法務的に正しいと思うことが必ずしも結論にならないことも多いですが、そこが難しい部分であると同時に、面白い部分でもあります。また、新しいビジネススキームを作り出すために法務以外のメンバーに混ぜて一緒に試行錯誤することができるのも、魅力だと思います。

■弁護士を目指す皆さんへのメッセージ

企業内弁護士といっても、会社によって求められる業務内容・働き方は違いますし、業種によって取り扱う法律も全く異なります。当然、法律事務所や官公庁も多種多様であることを考えると、弁護士には本当に様々な働き方があると思います。自分の置かれた環境や興味に合ったスタイルを選び、それぞれの場所で専門性を活かして働くことができるところが、弁護士の魅力の一つだと感じています。

